

《信頼性に基づく減肉評価と維持管理》

平成 25 年 11 月 29 日(金)開催

本セミナーは、プラント圧力設備に経験される主要な損傷の一つである減肉について、最新の技術基準、実験データに基づいた維持管理技術を、幅広く丁寧に紹介します。また、現状の課題を述べ、HPI が取り組む信頼性に基づいた減肉評価の将来について概説します。

プラント圧力設備の減肉の問題について、維持管理の最新技術だけでなく、将来期待される信頼性に基づいた評価技術の概要について習得できるチャンスです！

関係の方々におかれましては、この機会をぜひご利用くださいますようご案内申し上げます。

■■プログラム■■

※各講演終了後、5～10 分程度の休憩時間、12:20～13:10 まで昼食休憩がございます。

9:30 — 9:50	① 減肉を対象とした圧力設備の維持管理と信頼性技術 酒井 信介 (東京大学) 減肉を対象とした圧力設備の維持管理の現状と課題について概説する。関連する国内外の技術基準を紹介し、HPI が取り組む信頼性に基づいた減肉評価の位置づけと将来展望について述べる。
9:50 — 11:10	② 保温材下配管外面腐食に関する維持管理 原 修一 (エンジニアリング協会) 保温材下外面腐食(Corrosion-Under-Insulation :CUI)はプラント配管の腐食劣化による漏えい事故の最大の要因の一つであるが、維持管理上、減肉箇所の検出がきわめて困難であるという課題を持つ。この検査精度の向上のための具体的な指針として「維持管理ガイドライン」が平成 24 年 2 月策定され当協会から公表されている。この骨子である優先順位の選定方法やスクリーニング検査への非破壊検査活用等について紹介する。
11:20 — 12:20	③ 全面減肉の供用適性評価技術 石崎 陽一 (東燃ゼネラル石油) 適切な検査計画のもと、非破壊検査によって損傷が発見された場合、その対応について判断するための技術が供用適性 (Fitness-For-Service : FFS) 評価技術である。 API 579-1/ASME FFS-1 (2007)に示されている全面減肉評価の具体的手順と適用の際の勘所を解説する。
13:10 — 14:10	④ 局部減肉の供用適性評価技術 永田 聡 (東洋エンジニアリング) API 579-1/ASME FFS-1 (2007)に示されている局部減肉評価の具体的手順を解説する。有限要素法を用いた供用適性評価についても実例を交えながら解説する。
14:20 — 15:20	⑤ 供用適性評価技術の技術的背景と信頼性データ 戒田 拓洋 (住友化学) 供用適性評価には、破壊力学的手法が用いられており、減肉を有する圧力設備の供用継続可否判断を合理的に行うことができる。同評価技術の背景を解説するとともに、評価結果の信頼性を保証する各種実験データ (破裂試験、非破壊検査、繰返し曲げ試験) を紹介する。
15:30 — 16:50	⑥ 圧力設備の溶接補修 志賀 啓介 (新興プランテック) 星加 貴久 (住友化学) 各種プラントの圧力設備は高経年設備が多く、安全運転を確保する観点から設備保全の重要性が増大している。ここでは、圧力設備の再生技術である溶接補修を取り上げ、溶接補修に対する民間規格である日本溶接協会規格「圧力設備の溶接補修 WES7700 シリーズ : 2012 年 7 月発行」の概要と溶接補修事例について紹介する。

■開催要領■

- 開 催 日：平成25年11月29日（金）
会 場：自動車会館 2階 大会議室 千代田区九段南 4-8-13
地図 <http://www.jidosya-kaikan.com/map.html>
定 員：80名
主 催：一般社団法人 日本高圧力技術協会
協 賛 団 体：高圧ガス保安協会、(一社)日本非破壊検査協会、(一社)日本機械学会、(公社)石油学会、
(公社)化学工学会、石油連盟、(一社)日本鉄鋼協会、日本高圧力学会、(一社)日本溶接協会、
特定非営利活動法人安全工学会、石油化学工業協会、(一社)日本原子力学会、
(一財)日本規格協会、危険物保安技術協会、(公社)腐食防食学会、(公社)日本材料学会、
(一社)溶接学会、(一社)日本ガス協会、(公財)溶接接合工学振興会、
(一財)エンジニアリング協会、(順不同)

■参加費（テキスト代、昼食代含）■

会 員：30,000円（消費税込）

『会 員』対象は以下の通りです。

①ご所属先が当協会の団体会員企業の方

http://www.hpj.org/about/?action=common_download_main&upload_id=204

②当協会の個人会員としてご登録いただいている方

③ご所属先が、本セミナーの協賛団体の会員として登録されている方

※上記 ■開催要領■の『協賛団体』をご参照ください。

非 会 員：35,000円（消費税込）

■お申込み要領■

- ① 参加申込書に必要事項をご記入の上、E-mail 又は FAX、または当協会 HP より
<http://www.hpj.org/event/> 平成25年11月25日（月）までにお申込みください。
- ② 参加申込書を受領後、1週間以内に請求書をお送りします。
参加費は開催日前日までに、請求書の郵便口座、又は銀行口座へお振り込みください。
参加費のお振り込み後の、返却には応じられませんので、ご了承ください。
- ③ 受講券は、開催日の2週間前にメールでお送りします。
- ④ テキストは、セミナー当日、受付にてお渡しします。
- ⑤ ご不明な点は、セミナー事務局（一社）日本高圧力技術協会 田中夕香子までお問い合わせください。
〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町 1-11 産報佐久間ビル 5階
TEL/FAX 03-3255-3486/3488 E-mail tanaka@hpj.org URL <http://www.hpj.org/>

参加申込書は次のページです！！

(一社)日本高圧力技術協会 技術セミナー参加申込書

各項目をご記入の上、E-mail 又は FAX にてお申し込みをお願い致します。

E-mail: tanaka@hpij.org FAX:03-3255-3488

セミナー名	信頼性に基づく減肉評価と維持管理(11月29日開催)	
フリガナ 参加者名	①	E-mail アドレス
	②	E-mail アドレス
	③	E-mail アドレス
	④	E-mail アドレス
参加者種別	(<input type="checkbox"/> にチェックを入れて下さい) <input type="checkbox"/> 個人会員 <input type="checkbox"/> 団体会員 <input type="checkbox"/> 協賛団体会員(協賛団体名)	
勤務先 ご所属先名		
勤務先住所	〒	
TEL/FAX		
参加費種別	<input type="checkbox"/> にチェックを入れて下さい <input type="checkbox"/> 会員価格 30,000 円(消費税込) <input type="checkbox"/> 非会員価格 35,000 円(消費税込) ※会員価格は、当協会の団体会員、個人会員、及び本セミナーの協賛団体の会員に適用されます。	
振込み予定日	月 日	
備考		

当協会ではお客様の個人情報の取扱いについては、プライバシーポリシーを定め適切に管理を行います。
詳細についてはホームページ (<http://www.hpij.org/about/>)をご覧ください。